

第5章 まとめ

本項では、名和町教育委員会（A・B区）⁽¹⁾および鳥取県教育文化財団（C区、本報告）が平成12・13年度に実施した坪田遺跡の発掘調査で得られた成果のまとめを行う。

坪田遺跡は、名和川と東谷川が開削する河岸段丘状に立地する遺跡であり、縄文時代後期から14世紀前後にわたる遺構、遺物が出土した。底面にピットをもついわゆる落とし穴状土坑は計19基が確認され、断崖裾部付近から段丘平ら面にかけて分布する。A区SK-04からは後期の縄文土器が出土しており、後期から晩期の所産であろう。このほか、段崖を流下するSD1から後晩期の粗製土器が出土していることから、上流にあたる東側の台地上に当該期の集落の存在が推察される。土器とともに石棒状の石製品が出土した。鳥取県内では石棒状の石製品が17例確認されている⁽²⁾。坪田遺跡付近では、西伯郡大山町国信で採集されているが詳細は不明である。石材が判明しているものは10例であるが、このうち鳥取県東部から西部にかけての5例が安山岩、日南町印賀遺跡出土のものが有孔緑泥片岩であるなど、遺跡近郊で比較的容易に採取できる石材を使用したとみられるものが大半である。一方、坪田遺跡出土例の石材は泥質片岩であり、大山北麓域には通常分布しない石材である。分析の結果、最も地理的に近い産出地である日野川上流域のものではなく、徳島県吉野川流域の泥質片岩に近い分析値を得た。比較した試料点数が少なく、結果には慎重を期すべきであるが、日野川流域以外から持ち込まれた石材であることは確かであろう。

縄文晩期から弥生前期にかけては、突帯文土器のほかに数点の遺瓦系土器が出土している。中期後半にはB区で土坑が検出されている。C区の自然流路SD1は徐々に埋没しつつある段階とみられる。古墳時代の遺構は確認できないが、6世紀代の遺物が散在しており遺構の存在が推察される。

8世紀代の遺構はC区SK10があり、C区を中心に高広編年ⅢB～ⅣA期（7世紀末葉～8世紀後葉）に比定される須恵器が出土している。C区では、口縁部がくの字状に外反する土師器の甕を含めて最も高い割合で出土しており、時期が明確でない第二遺構面検出の独立柱建物跡など遺構の一部はこの時期に該当する可能性がある。若干であるが赤彩された土師質土器が出土しており、伯耆国片第2段階（9世紀後半）に位置づけられる。また、時期は不明であるがC区C5グリッド付近の耕作上中において土馬が採集されている⁽³⁾。須恵質であり青灰色を呈する。2本の脚と頭部、尻尾を欠損しており、陰茎の剥離痕から牡馬とみられている。

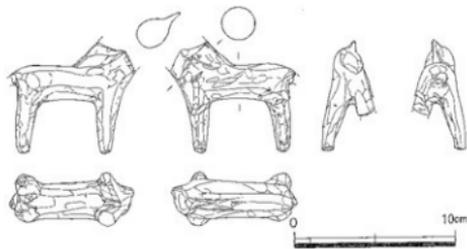
12世紀前後の遺物は少ないが、SK9はこの時期に比定される。I層に包含する遺物の下限は13～14世紀である。この時期は出土遺物が増加しており、瓦質の鍋や羽釜のほか、13世紀代に比定される青磁が出土している。第一遺構面検出のSB1は庇をもち、層位的所見から13・14世紀からさほど下らない時期の所産とみられる。坪田遺跡の南西側約100mには名和氏館跡と伝承される史跡があるが、14世紀を前後する時期の遺物はわずかである。このほか時期は不明であるが、A区の東谷川右岸斜面への変換点付近で砂質土で覆われた黒色土上面において側溝目の動物の足跡が多数検出されており、比較的標高の低いA区南側は東谷川の氾濫源であったものと考えられる。

註

(1) 志山和雅編 2002 『坪田遺跡』名和町文化財調査報告書第29集 名和町教育委員会

(2) 濱田竜彦 2000 『中国地域（鳥取県・島根県）の縄文』『縄文・弥生移行期の石製硯器具Ⅰ』小林青樹編 国立歴史民俗博物館 蔵成研究室 23～41p

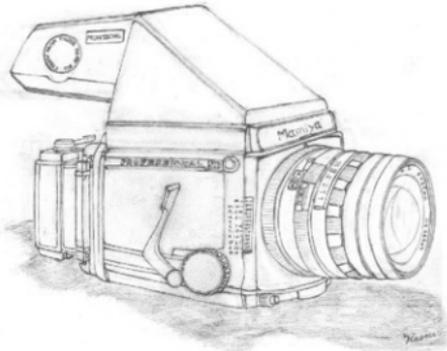
(3) 辻 信広 2000 『第9章 坪田遺跡』『名和町内遺跡分布調査報告書』名和町歴史文化財調査報告書第26集 名和町教育委員会 54p



第58回 C5グリッド周辺出土土馬

出典一註(3) 54P

図 版
PLATE





1 遺跡周辺の地形 (1. 南東から 2. 北東から)



遺跡周辺の地形（上方が北 1995年10月28日撮影）



1. 第二遺構面完掘状況 (西から)



2. 1層 (黒褐色土) 遺物出土状況 (南東から)



3. 1層 (黒褐色土) 遺物出土状況 (北東から)



1. SD2 完掘状況 (南西から)



2. ベルト土層断面 (F5-E5ライン 南西から)



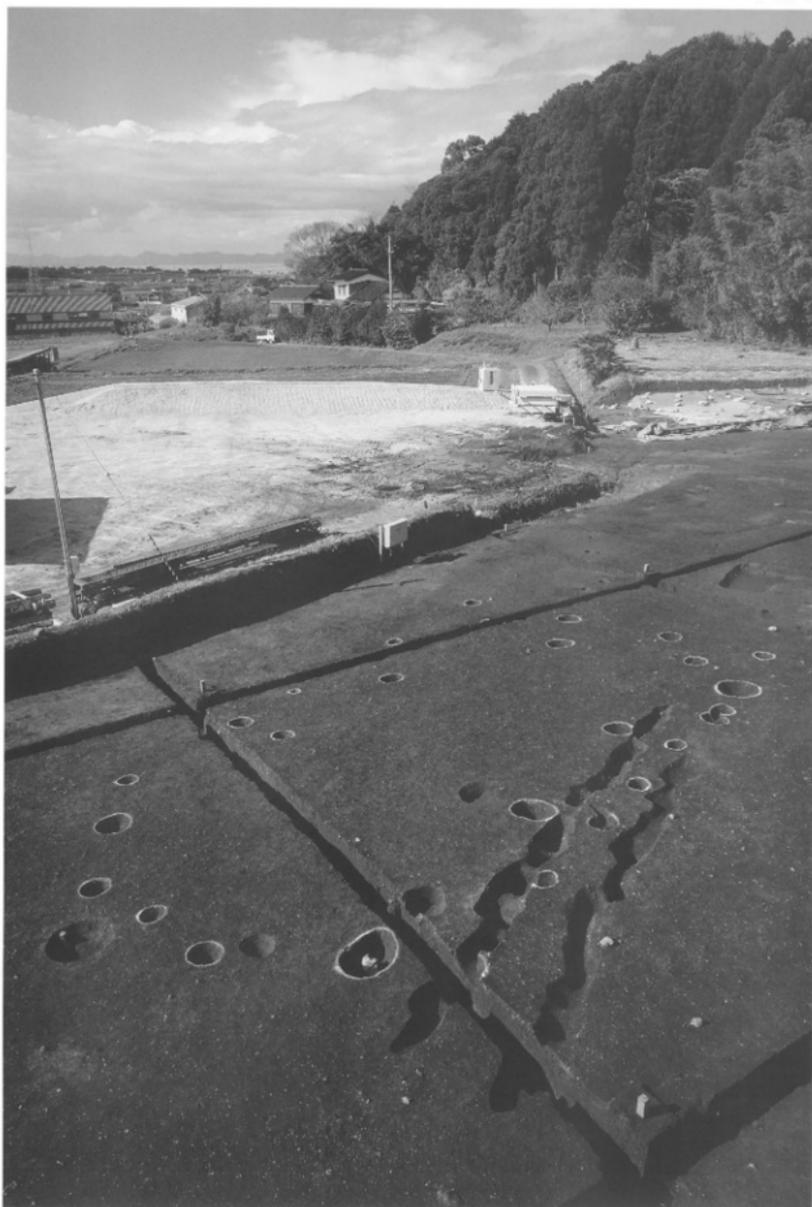
4. SD2 土層断面 (南西から)



3. ベルト土層断面 (G5-F5ライン 北東から)



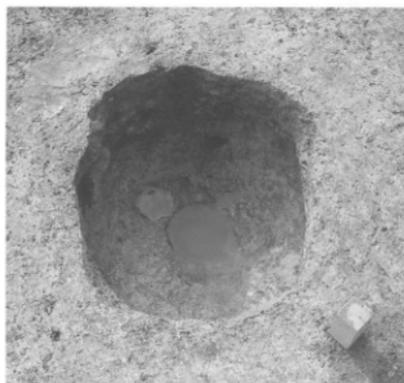
5. II層 (黒色土) 遺物 (77) 出土状況
(F4グリッド 北東から)



SB1 (南東から)



第一遺構面完掘状況（北から）



1. SK1 (南東から)



4. SK4 (北東から)



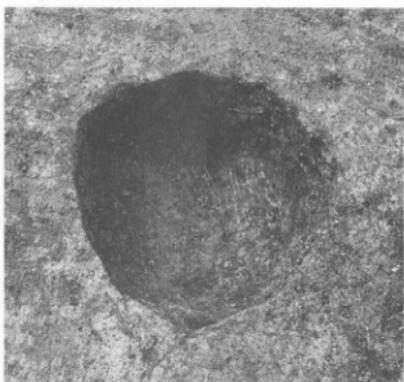
2. SK2 (西から)



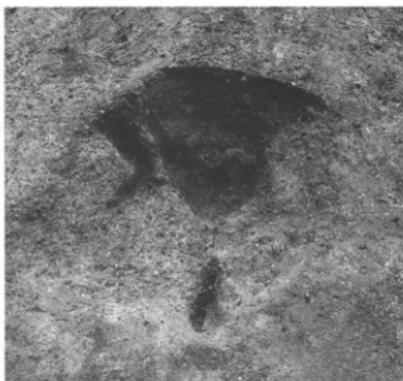
5. SK5 (西から)



3. SK3 (北西から)



6. SK6 (北東から)



1. SK7 (北から)



4. SK9 (北西から)



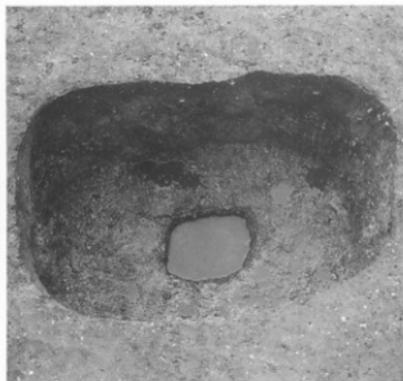
2. SK8 (西から)



5. SK9 底面検出状況 (北西から)



3. SK8 土層断面 (北東から)



6. SK11 (北から)



第二遣構面完結状況（北西から）



1. SK13 (東から)



2. SK14 (北東から)



3. SK16 (北から)



4. SK15 (北西から)



5. SK15 土層断面 (北から)



6. SK16 土層断面 (南西から)



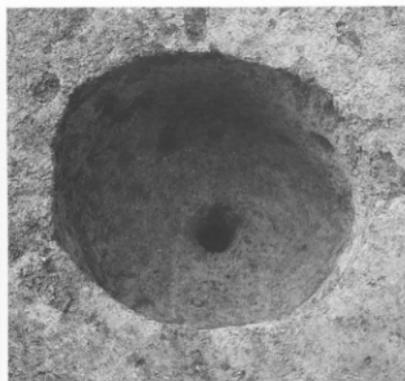
1. SB2 (北東から)



2. 第二遺構面完掘状況 (北から)



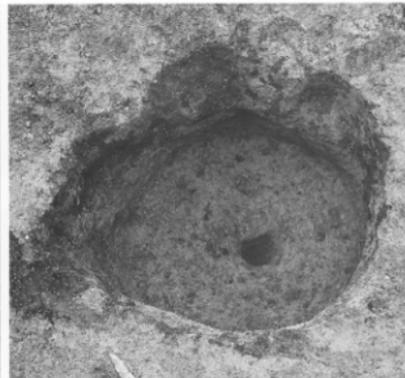
1. SK17 (西から)



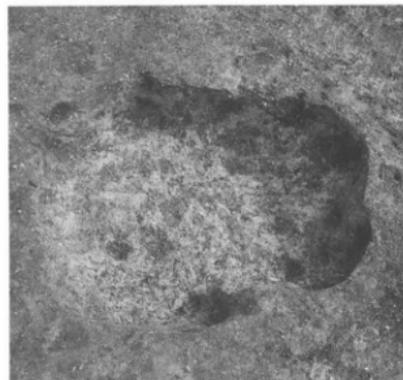
4. SK20 (東から)



2. SK18 (東から)



5. SK21 (東から)



3. SK19 (北から)



6. SK22 (東から)



1. SB3 (南東から)



2. SD4 (南西から)



1. SK23 (北から)



4. SK26 (東から)



2. SK24 (東から)



5. SK27 (北東から)



3. SK25 (西から)



6. SK28 (南東から)



1. SD1 (南西から)



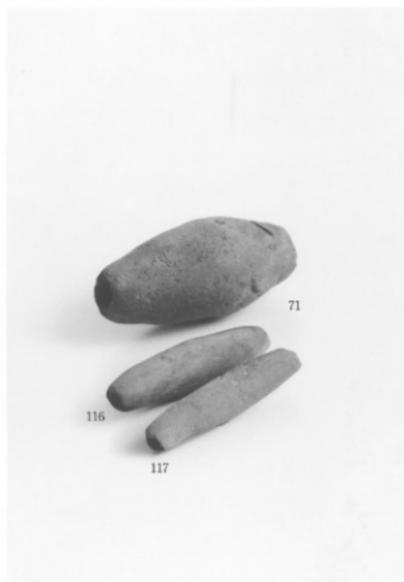
2. SD1 土層断面 (西から)



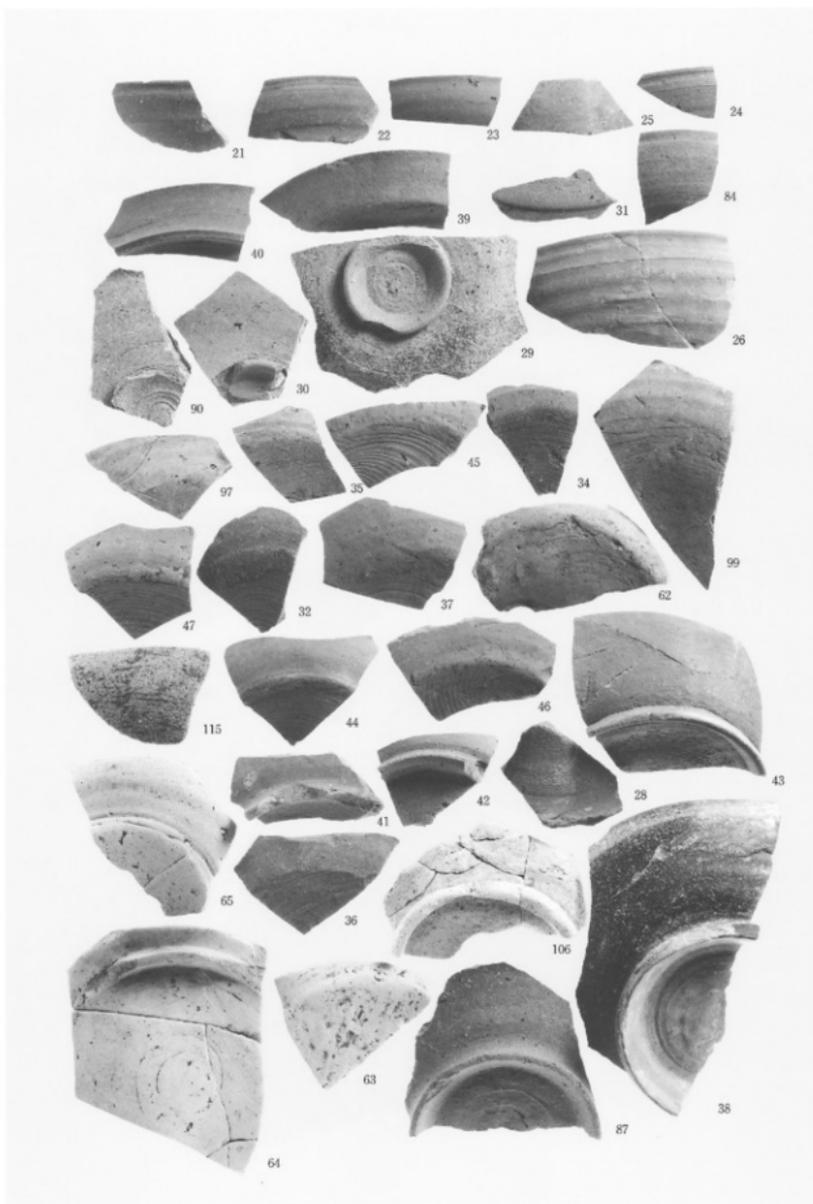
1. II層（黒色土）出土遺物 1



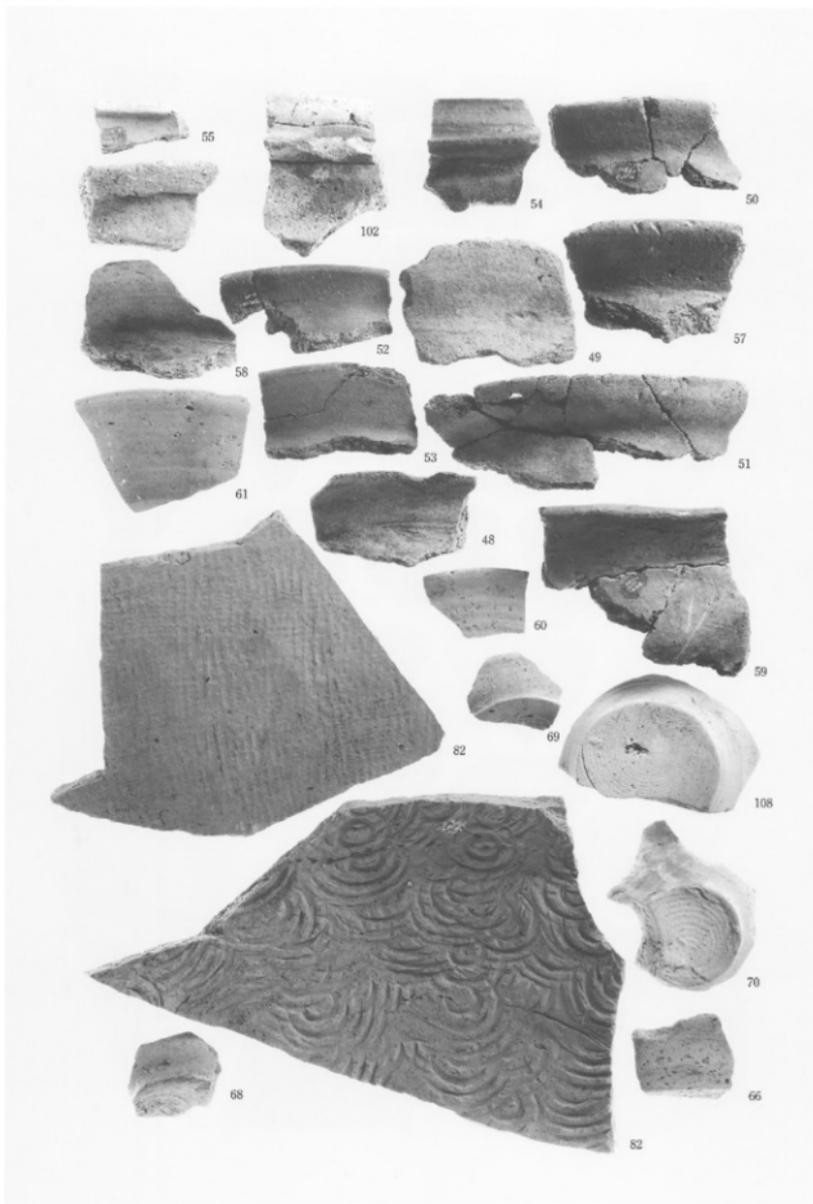
2. II層（黒色土）出土遺物 2



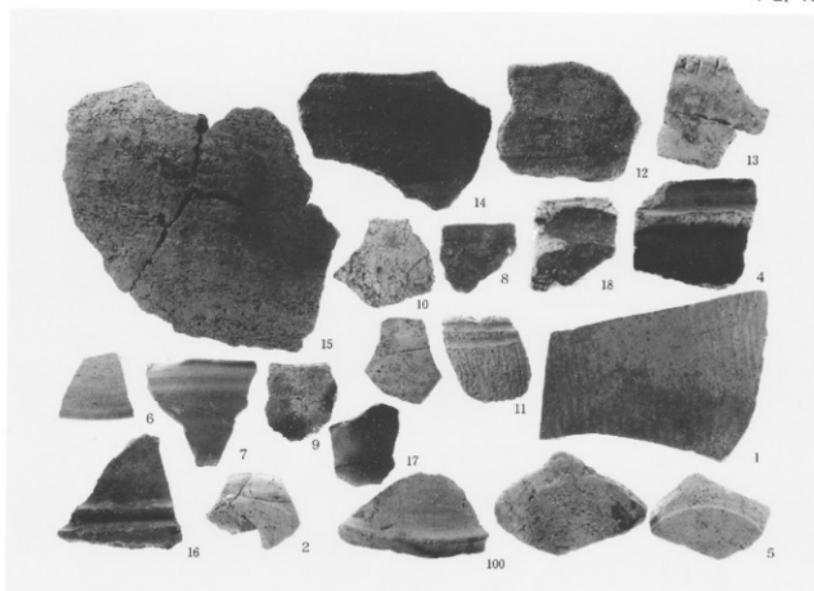
3. I層 (71)・SD 1 (116・117) 出土遺物



包含層出土遺物 1



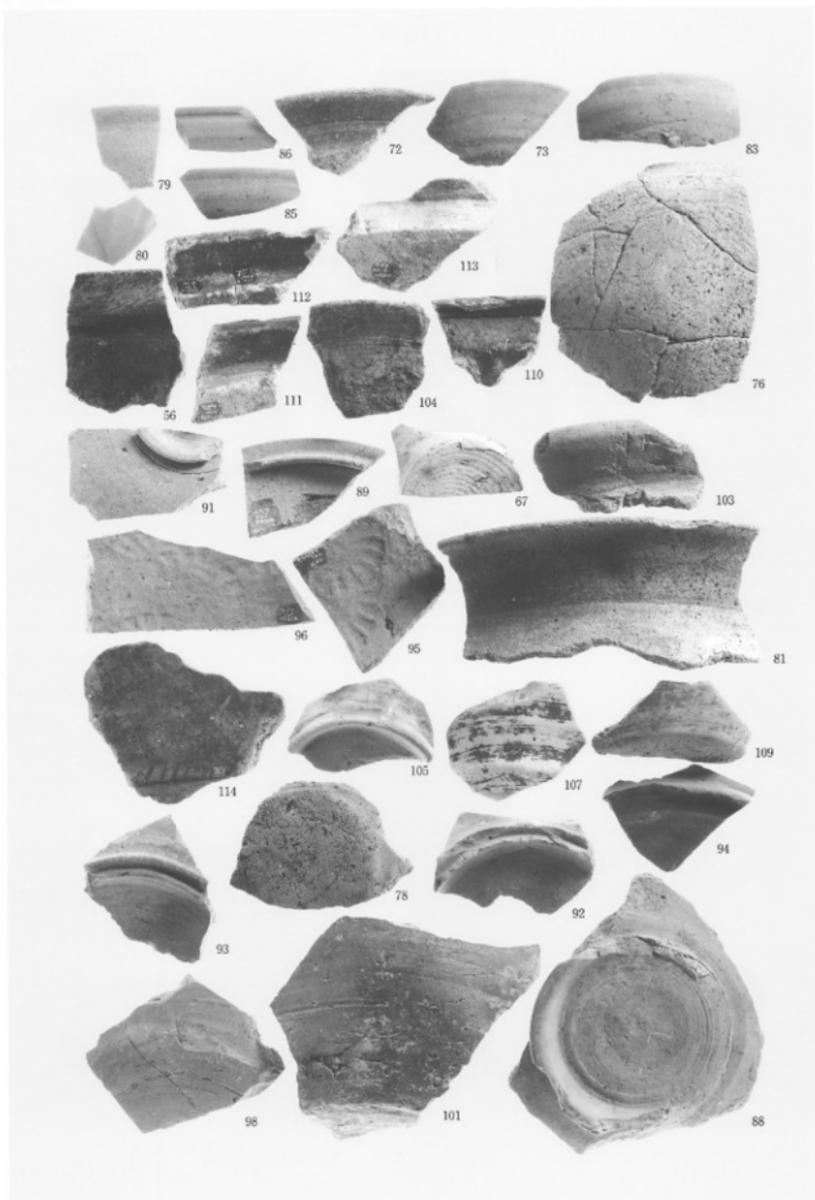
包含層出土遺物2



1. 遺構内出土遺物



2. 石器・石製品



包含層出土遺物 3

報告書抄録

ふりがな	つばたいせき							
書名	坪田遺跡							
副書名	一般県道旧奈和西坪線地方特定道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	鳥取県教育文化財団調査報告書							
シリーズ番号	79							
編著者名	岡野雅則、君嶋俊行							
編集機関	財団法人鳥取県教育文化財団 鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県岩美郡岡野町宮下1260番地 TEL (0857) 27-6711							
発行年月日	西暦2002 (平成14) 年3月29日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
坪田遺跡	名和町字寺ノ前、 字小門	31378	301	35° 29' 48"	133° 30' 07"	20011001 ～ 20011227	6510㎡	一般県道旧奈和西坪線地方特定道路整備事業
所収遺跡名	種別	おもな時代	おもな遺構	おもな遺物		特記事項		
坪田遺跡	自然流路	弥生時代中期	流路	1	縄文土器、弥生土器	石棒とみられる棒状石製品		
	集落	奈良～平安時代 (8～11c)	掘立柱建物	2	須恵器、土師器			
		鎌倉～室町時代 (13～14c)	掘立柱建物	1	青磁、土師質土器、			
			流路	2	瓦質土器			
時期不明	土坑	26						
			流路	1				

鳥取県教育文化財団調査報告書79

一般県道田奈和西坪線地方特定道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

鳥取県西伯郡名和町

坪田遺跡

発行 2002年3月29日
編集 財団法人 鳥取県教育文化財団
鳥取県埋蔵文化財センター
〒680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1260
電話 (0857)27-6711
発行者 財団法人 鳥取県教育文化財団
印刷 山本印刷株式会社